

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	23-8																																							
PDCA	主要事業名	用悪水路改修事業(維持修繕・改修)	部課名	建設部土木課	担当	加古																																							
					内線	434																																							
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 3 - 1 単位施策： 道路 全体事業期間： 令和 3 年度 全体事業費等： 47,976 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.03.03.02.50 3か年実施計画(当該年度事業費等)： 48,000 千円					目標項目(予算計上時に作成) 予算見積書で活用																																							
	事業概要等	事業概要： 市内一円の市管理水路について、快適な住環境の創出と浸水被害等の軽減を図る。 事業目的： 市内一円水路の正常な機能確保 事業内容： 水路の維持修繕・改修を行う。 問題点・住民要望や道路パトロールなどにより、修繕計画の見直しを行い、緊急性、課題等： 必要性の高いものから改修等を行う。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	47,976 千円	適切な雨水排水処理を行い、浸水被害等の軽減を図るため、修繕及び改修を行う必要がある。																																											
	財源内訳	得られる成果																																											
	市費	快適な住環境の創出と浸水被害等の軽減を図ることができる。																																											
	37,962 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水路改修箇所数</td> <td>実績値</td> <td>2.0</td> <td>5.0</td> <td>-</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1.0</td> <td>4.0</td> <td>2.0</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	水路改修箇所数	実績値	2.0	5.0	-	箇所	目標値	1.0	4.0	2.0	箇所		実績値					目標値					その他	実績値					目標値				
	目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度		単位																																						
	水路改修箇所数	実績値	2.0	5.0	-		箇所																																						
		目標値	1.0	4.0	2.0		箇所																																						
	実績値																																												
	目標値																																												
その他	実績値																																												
	目標値																																												
0 千円																																													
県費																																													
0 千円																																													
その他																																													
10,014 千円																																													
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																											
	47,923 千円	危険個所の修繕等を行うことで、快適な住環境の創出と浸水被害等の軽減を図ることができた。																																											
		成果指標			令和3年度	単位																																							
		水路改修箇所数	実績値	3.0	箇所																																								
			目標値	2.0	箇所																																								
C 課題の整理	事業の評価・課題	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td colspan="5">計画的に実施した2箇所と破損が確認された1箇所の改修工事のほか、住民要望や道路パトロール等で発見した危険箇所を修繕し、排水機能を確保することができた。</td> </tr> </table>				B	計画的に実施した2箇所と破損が確認された1箇所の改修工事のほか、住民要望や道路パトロール等で発見した危険箇所を修繕し、排水機能を確保することができた。																																						
	B	計画的に実施した2箇所と破損が確認された1箇所の改修工事のほか、住民要望や道路パトロール等で発見した危険箇所を修繕し、排水機能を確保することができた。																																											
A 今後の課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">改善推進</td> <td colspan="5">用悪水路の適切な維持管理のため、住民要望や道路パトロール等により危険箇所を早期発見し、緊急性及び必要性を踏まえ、予防保全的な観点から計画的に修繕、改修を進めていく。</td> </tr> </table>				改善推進	用悪水路の適切な維持管理のため、住民要望や道路パトロール等により危険箇所を早期発見し、緊急性及び必要性を踏まえ、予防保全的な観点から計画的に修繕、改修を進めていく。																																						
	改善推進	用悪水路の適切な維持管理のため、住民要望や道路パトロール等により危険箇所を早期発見し、緊急性及び必要性を踏まえ、予防保全的な観点から計画的に修繕、改修を進めていく。																																											
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある																																						
②市民ニーズ		高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更																																								
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	-																																							
					主要施策の成果報告書で活用 評価項目(決算時に作成)																																								